マスククリーン MC-T102

信頼のメイドインジャパン

製品仕様について

型名	MC-T102		
商品名	マスククリーン		
サイズ	幅592㎜×奥行178㎜×高さ447㎜		
重量	約11kg		
電源	家庭用交流100V（50~60Hz共用）		
部屋サイズ	約36畳		
商品分類（大/中/小）	生活家電／季節家電／空気清浄機		
運転モード	弱	中	強
風量	0.8㎥/min	2.5㎥/min	3.5㎥/min
消費電力	115W	125W	145W
運転音	24dB	41dB	48dB

MC-T102 HEPAフィルター

マスククリーン交換用HEPAフィルターについて

HEPAフィルターの交換目安は、約6ヶ月〜1年となっております。
お使いの使用状況によっても変わりますが、目詰まりなどの汚れが
取れにくくなってきた場合は、フィルターの交換をご検討ください。

交換目安	約６ヶ月 〜 １年
販売価格	4,950円（税込）

●このカタログについてのお問い合わせは、お買上げの販売店にご相談ください。
販売店でお分かりにならないときは、下記までご連絡ください。

お問い合わせ先　0120-80-2450
営業時間（9:00〜17:00） 定休日（毎週土・日曜及び祝日）

販売元　株式会社マスクフジコー
福岡県北九州市小倉北区馬借1丁目5番18号ランドスペース馬借2F

製造元　株式会社フジコー　若松響工場
福岡県北九州市若松区響町1丁目110-5

販売店

●本製品は日本国内仕様です。海外では使用できません。●医療用器具ではございません。●仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります。●カタログと実際の商品の色とは、印刷の関係で異なることがあります。

2022年4月現在

FUJICO

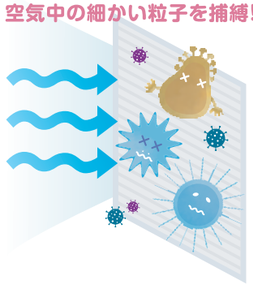
マスククリーン
MaSSC CLEAN MC-T102

HEPAフィルター搭載モデル誕生。
除菌力、集塵力がよりパワフルに。

MC-T102の詳細はこちら
www.massc.jp

マスククリーン　MC-T102の3つのポイント

POINT 1　HEPAフィルター搭載



HEPAフィルターは、JIS規格により「定格風量で粒径が0.3μmの粒子に対して99.97%以上の粒子捕集率をもつ。」ものと定義されてます。

空気中からPM2.5等の微小粒子のゴミ、塵埃などを取り除きます。

POINT 2　何も出さないからより安心

オゾン、イオン、次亜塩素酸などの放出はゼロ。

光触媒フィルターが、HEPAフィルターで取り除けなかった菌やウイルス、臭いの元となるガスを「元から分解して除去」し、空気中には「キレイな空気」だけを放出します。

POINT 3　ワンボタンの簡単操作！

コンセントを差して、ボタンを押すだけ。

ひとつのボタンで、電源ON/OFF、及び風量切り替えができます。

“キレイな空気以外を放出しない”
が主流に。

マスククリーンにHEPA搭載モデルが登場。

大きな空間を消臭・除菌。様々な場所に導入。

会議室

病院

幼稚園・保育園

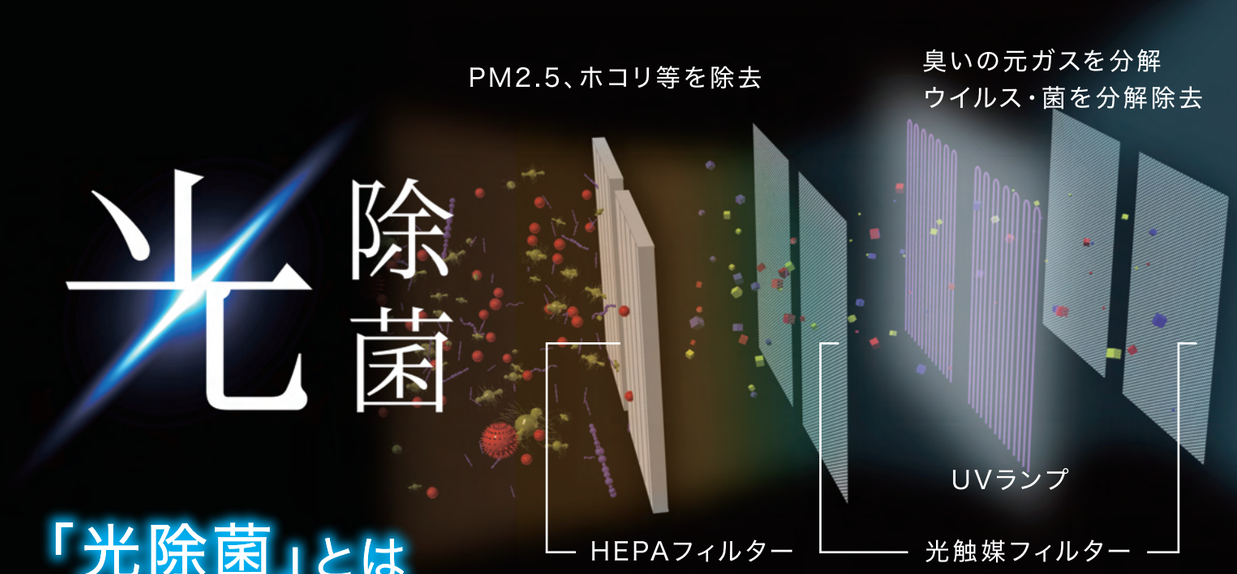
広いリビング

介護施設

花粉症

オゾン、イオン、次亜塩素酸などの放出はゼロなので、育児をされているご家庭、アレル物質に敏感な方がいらっしゃるご家庭やオフィス、また、病院介護の場でも安心してお使いいただけます。

強力フィルターでパワフルに除菌・消臭!



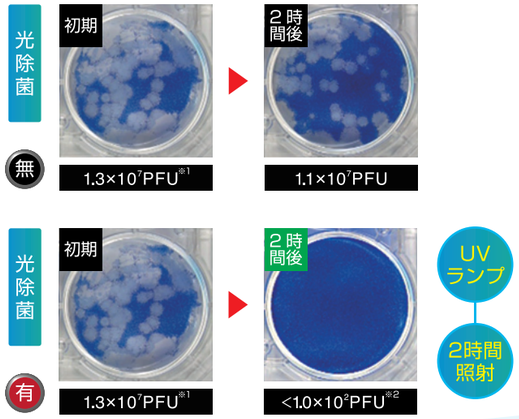
「光除菌」とは

「光除菌」とは、光触媒による新しい除菌・消臭技術。光触媒をフジコー独自技術でフィルターに成膜しており、高い除菌力、及び消臭力を発揮します。

光触媒に銀を独自にブレンディングしたハイブリッド光触媒を、フジコー独自の溶射技術により基材に高純度に皮膜化することで、光触媒、及び銀の能力を最大限引き出すことができます。
つまり、「光除菌」により、高い除菌能力、及び消臭能力を発揮させることが可能となります。

実証試験で裏付けされた高性能

フィルターの抗ウイルス試験
（フィルターに付着したウイルスの減少試験）



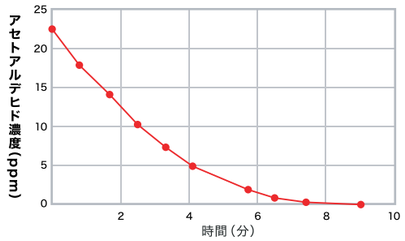
※1 無加工フィルター0分の結果です。※2 <1.0X10²は検出限界未満を表す。

試験機関：地方独立行政法人 神奈川県立産業技術総合研究所
試験番号：KISTEC02-291A03
試験ウイルス：付着した 1 種類のウイルス
試験方法：JIS R 1706（ファインセラミックス - 光触媒材料の抗ウイルス性試験方法）を参考
ウイルス定量法：プラーク法による感染価測定 - フィルターにウイルスを付着させ経過時間後の付着ウイルス感染価を測定

注 1）写真の白い部分が、ウイルスに感染した細胞（プラーク）です。
注 2）上記試験はいずれも実使用空間での実証効果を表すものではありません。

アセトアルデヒド消臭試験

当該物質は臭い試験の代表的なガスです。体臭や口臭等に含まれます。

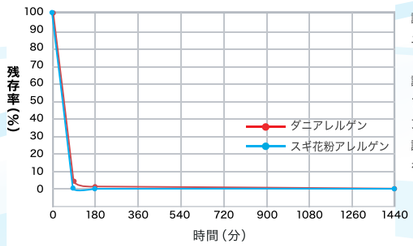


試験機関：
株式会社フジコー技術開発センター

試験方法：
アセトアルデヒドガスを充満させた0.5㎥アクリルチャンバー内でT102を「強」で稼働させたときの濃度をマルチガスモニタにて測定

アレル物質分解試験

ダニ、花粉アレルゲンは、アレルギー症状の大きな因子と言われています。



試験機関：
ニチニチ製薬株式会社

試験方法：
フィルター（□50mm）に付着させたアレルゲン（約 600ng/ml）の濃度に調整したアレルゲン（溶液 4ml 使用）を ELISAで測定